



令和元年度（平成31年度）

ふくしま学力調査 分析報告書

子どもたちが
どれだけ自分が伸びたかを実感し、
自信を深め、意欲を高め、
さらに学力を伸ばすために
「ふくしま学力調査」を実施します



令和 2 年 1 月
福島県教育委員会

目次

第1章	ふくしま学力調査の概要	1
1	調査の概要	1
2	教科に関する調査の結果	2
3	個人結果個票の見方について	10
4	調査に関するQ & A	11
第2章	学習指導のポイント	12
1	教科別授業改善の視点	13
2	国語	14
3	算数・数学	24
第3章	質問紙調査と学力の階層の関係から見える傾向	34
1	質問紙調査から見える傾向の概要	35
2	分析支援プログラムの使い方	37
3	授業に関すること	38
4	学習意欲や学習環境に関すること	48
5	家庭での生活に関すること	72
第4章	非認知能力に関する分析について	92
1	非認知能力について	93
2	学習方略について	95
3	主体的・対話的で深い学びの実施について	98
4	帳票40を活用した分析について	99
第5章	各教育事務所からのメッセージ	100
1	県北教育事務所	101
2	県中教育事務所	102
3	県南教育事務所	103
4	会津教育事務所	104
5	南会津教育事務所	105
6	相双教育事務所	106
7	いわき教育事務所	107

第1章 ふくしま学力調査の概要

1 調査の概要

1 調査の目的

児童生徒一人一人の学力の伸びや学習等に対する意識、生活の状況等を把握する調査を実施し、教育及び教育施策等の成果と課題を検証するとともに、その改善を図るための方策を構築し、一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 実施期日

平成31年4月11日（木）

3 参加学校・参加人数

全公立小・中学校（義務教育学校を含む。以下同じ。）が参加

- (1) 小学校 436校（県立特別支援学校小学部を含む。）
- (2) 中学校 225校（県立特別支援学校中学部を含む。）
- (3) 児童生徒数

小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年
13,947人	14,430人	14,756人	14,976人	14,718人

4 調査項目

- (1) 小学校第4～6学年：国語、算数、質問紙調査
- (2) 中学校第1、2学年：国語、数学、質問紙調査

5 福島県学力調査との違い

平成29年度まで実施した「福島県学力調査」は、調査年度の児童生徒の学力の現状を把握することには適していましたが、実施年度が異なる調査の結果を比較しにくいという課題がありました。今年度から実施した「ふくしま学力調査」では、問題の難易度を考慮に入れて学力を測定する、つまり、「どれくらい難しい問題に正答できたか」という視点を加え、小学校4年生から中学校2年生まで実施することで、児童生徒の学力が伸びていく様子を、より明確に示すことができるようになっています。

6 埼玉県教育委員会との連携協力協定

本調査は、埼玉県教育委員会と締結した「埼玉県教育委員会と福島県教育委員会との義務教育の充実に関する連携協力協定」に基づき、調査問題の相互利用等をしながらか実施しています。埼玉県では、平成27年度から埼玉県学力・学習状況調査として実施しています。

2 教科に関する調査の結果

1 福島県の平均正答率 (%)

	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年
国語	58.0	49.7	61.7	57.8	54.9
算数・数学	67.5	61.1	59.9	58.3	52.3

2 福島県のカテゴリー別正答率 (%)

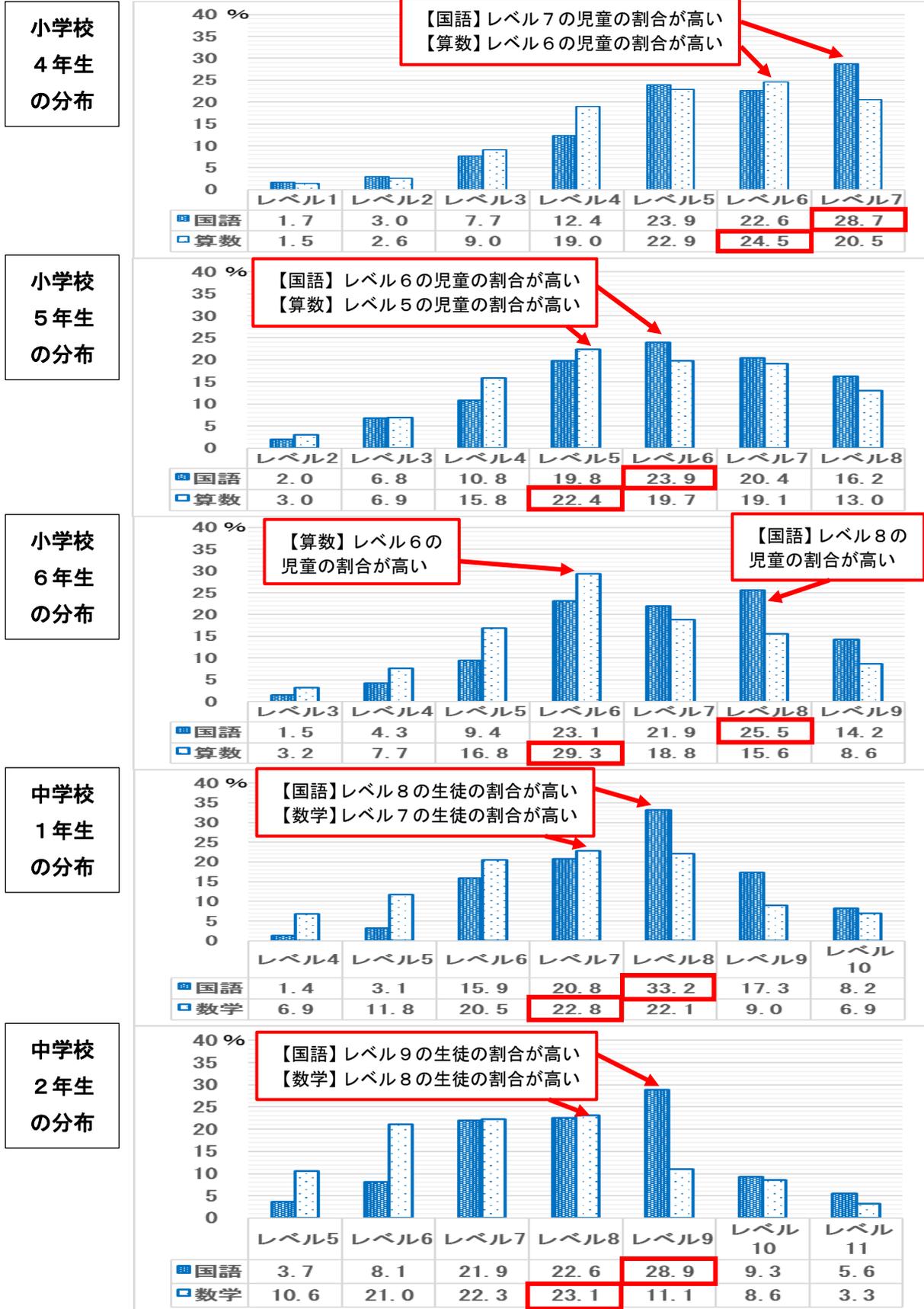
【国語】

	教科の領域等別 平均正答率			評価の観点別 平均正答率				問題形式別 平均正答率		
	話すこと・聞くこと・書くこと	読むこと	国語の特質に関する事項 伝統的な言語文化と	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式
小学4年	40.0	63.5	62.0	37.9	41.5	63.5	62.0	54.1	63.7	21.2
小学5年	38.1	45.3	54.7	55.7	20.5	45.3	54.7	42.5	56.9	11.8
小学6年	52.1	59.7	65.0	58.5	45.7	59.7	65.0	60.8	65.3	34.9
中学1年	40.8	54.5	63.5	48.1	33.5	54.5	63.5	60.6	52.8	45.6
中学2年	54.9	51.0	56.9	60.9	48.9	51.0	56.9	54.9	56.3	42.0

【算数・数学】

	教科の領域等別 平均正答率				評価の観点別 平均正答率			問題形式別 平均正答率		
	数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式
小学4年	70.2	69.9	62.8	65.8	35.2	64.0	75.7	67.9	68.3	49.6
小学5年	64.1	55.5	61.7	61.3	48.4	58.0	65.8	63.9	57.4	72.2
小学6年	63.6	53.5	58.6	62.2	38.3	62.9	59.3	57.6	63.0	44.0
中学1年	54.1	52.5	57.1	71.1	41.7	63.5	57.3	58.0	59.4	43.8
中学2年	57.4	45.4	54.1	53.4	47.8	56.4	47.5	51.1	55.9	27.2

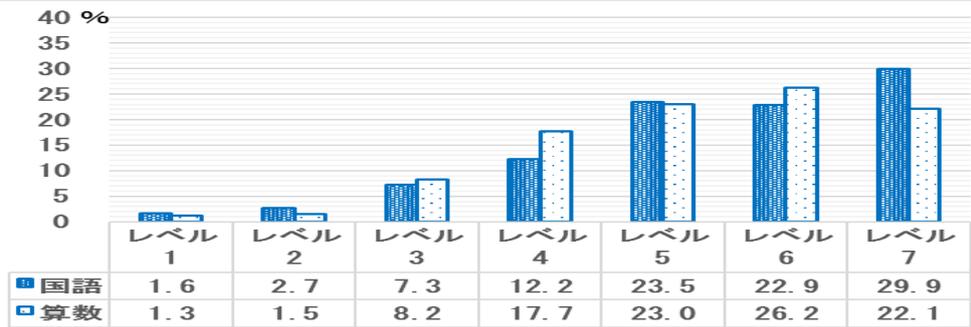
3 福島県の「学力のレベル」の分布 (%)



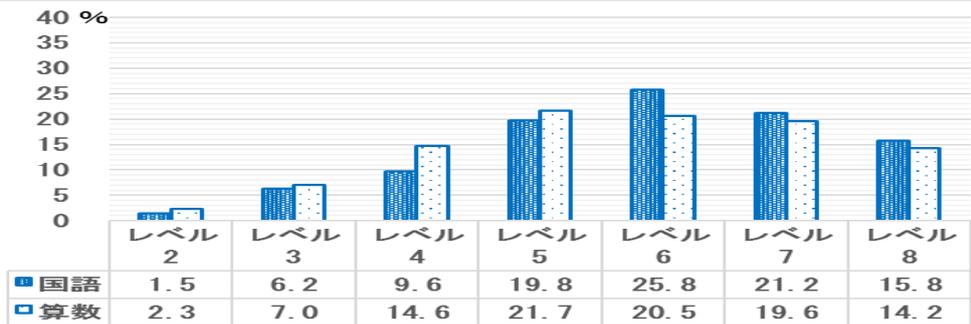
※ 各学力レベルに属する児童生徒の分布割合は四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。

4 県北教育事務所域内の「学力のレベル」の分布（％）

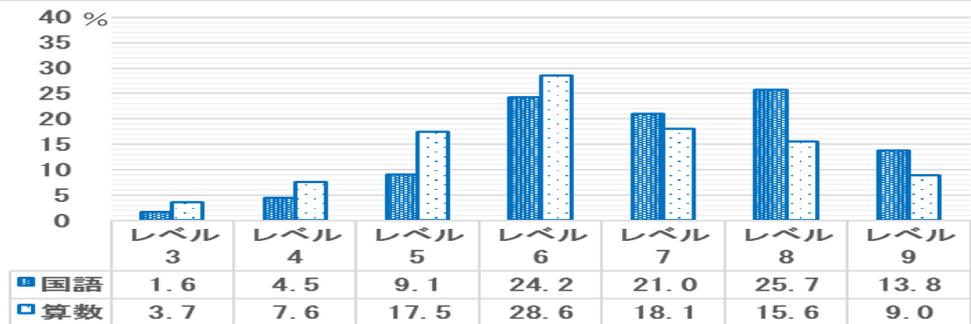
小学校
4年生
の分布



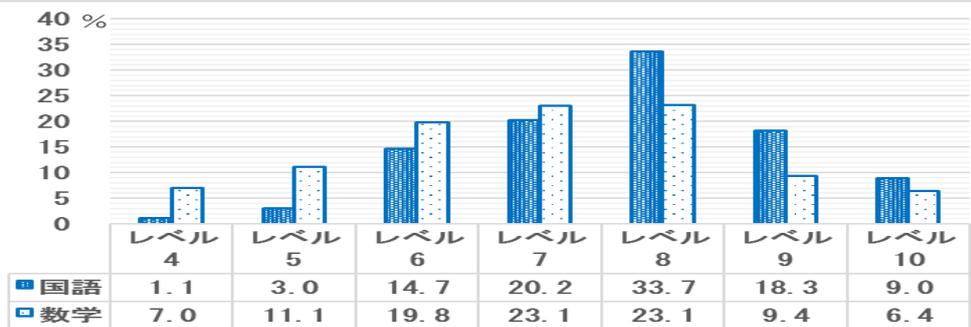
小学校
5年生
の分布



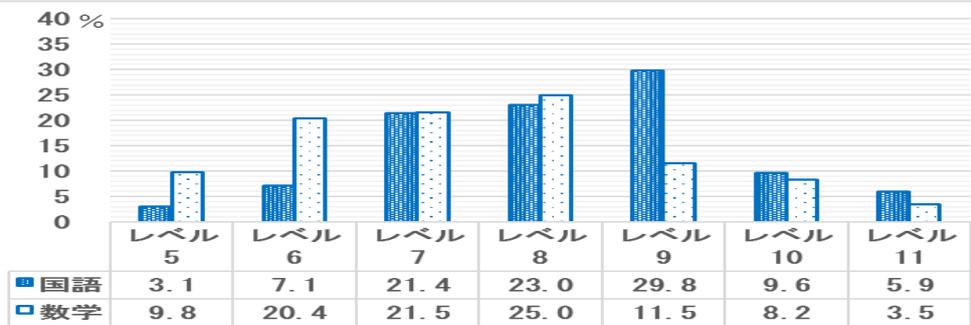
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布

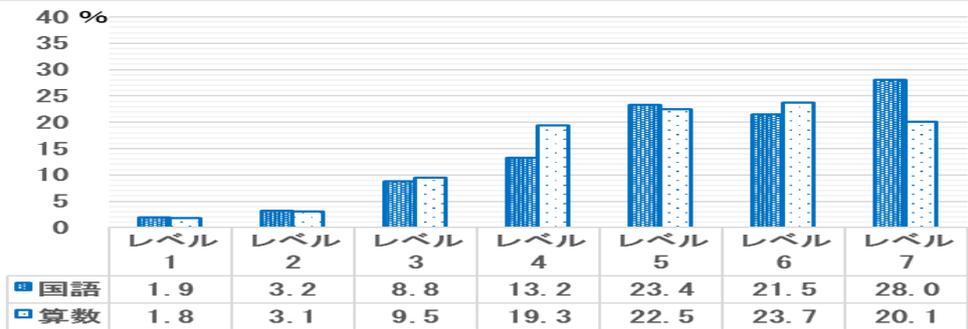


中学校
2年生
の分布

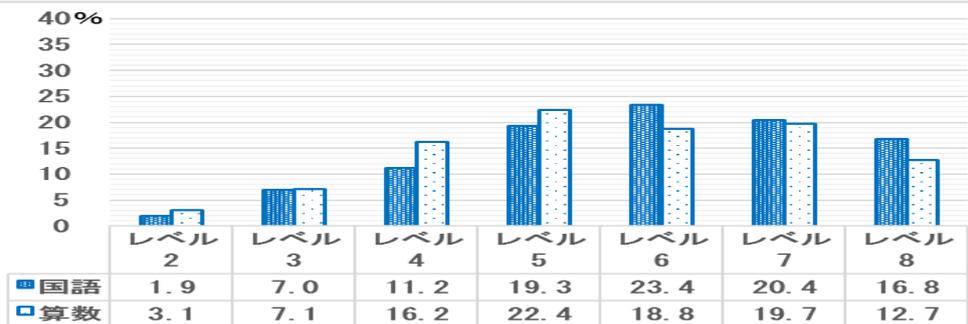


5 県中教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

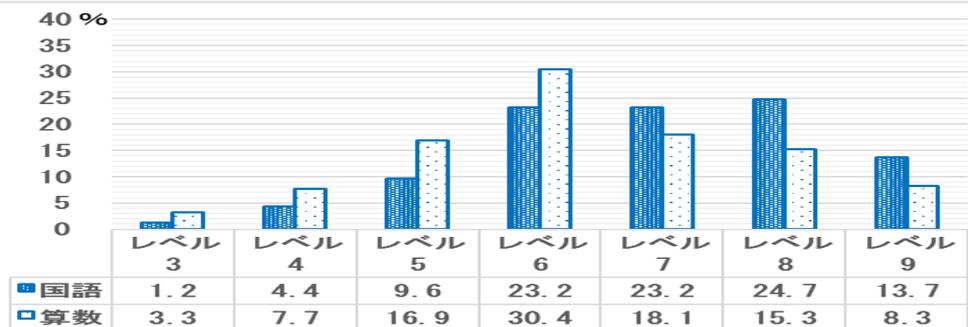
小学校
4年生
の分布



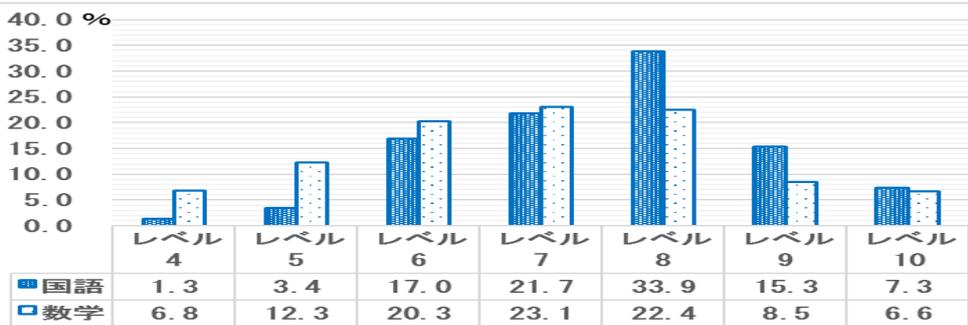
小学校
5年生
の分布



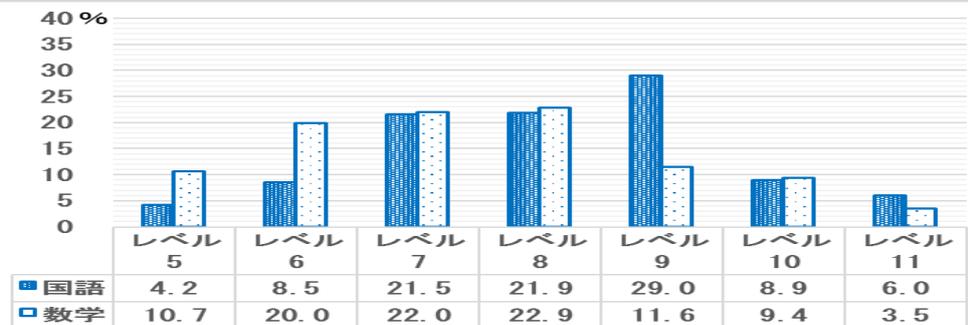
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布

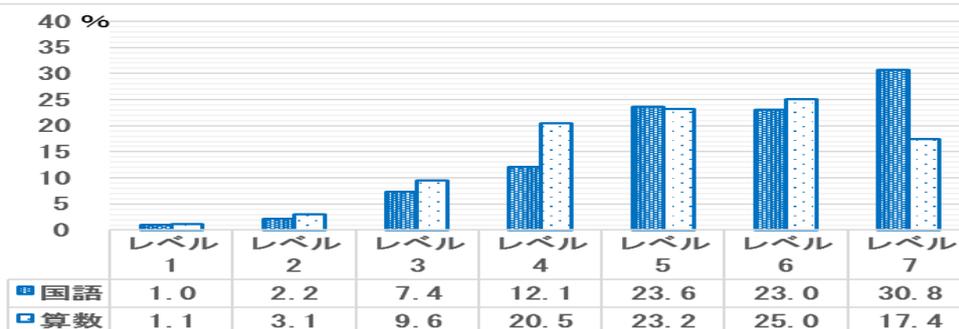


中学校
2年生
の分布

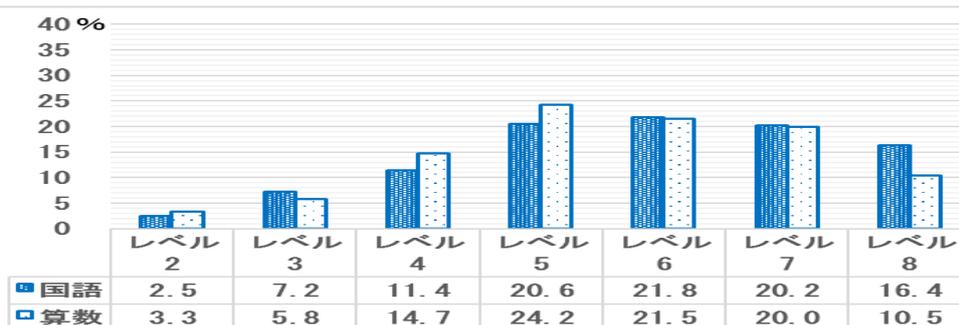


6 県南教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

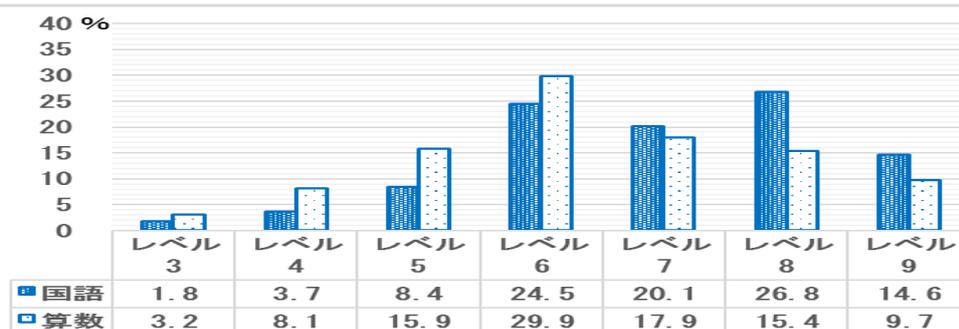
小学校
4年生
の分布



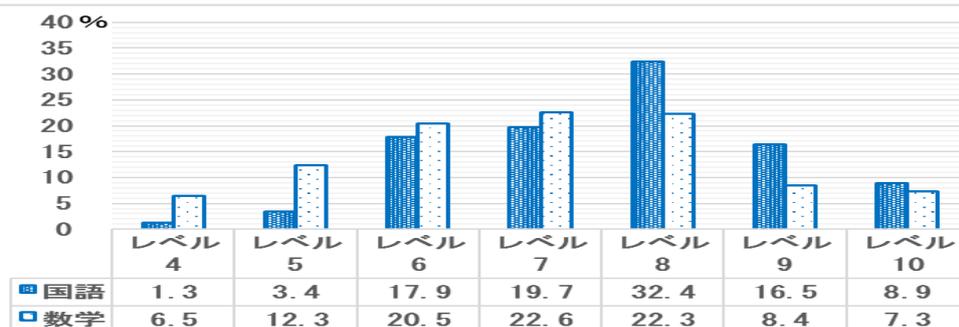
小学校
5年生
の分布



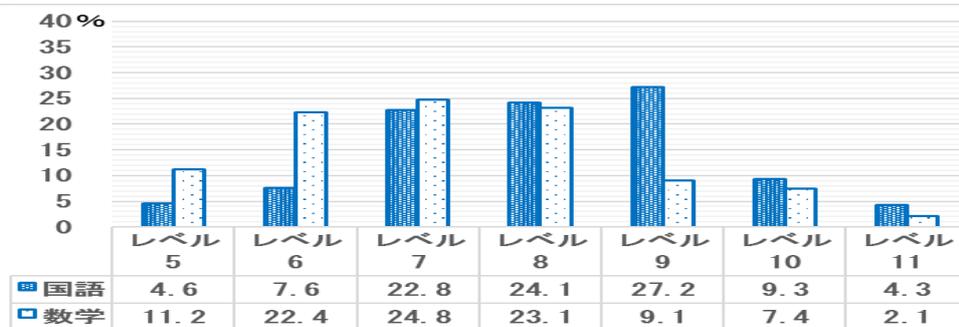
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布

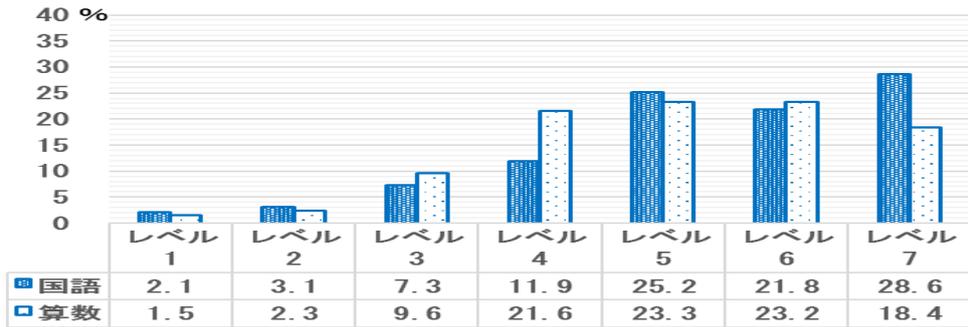


中学校
2年生
の分布

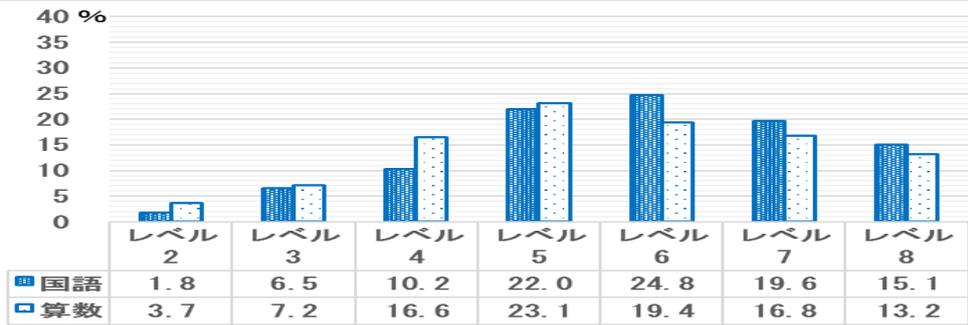


7 会津教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

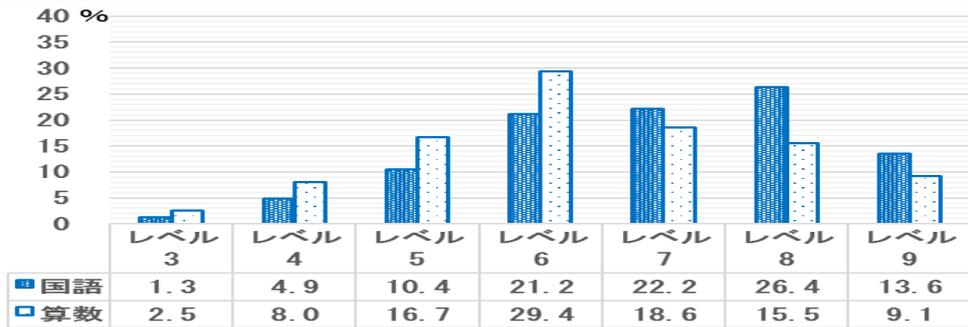
小学校
4年生
の分布



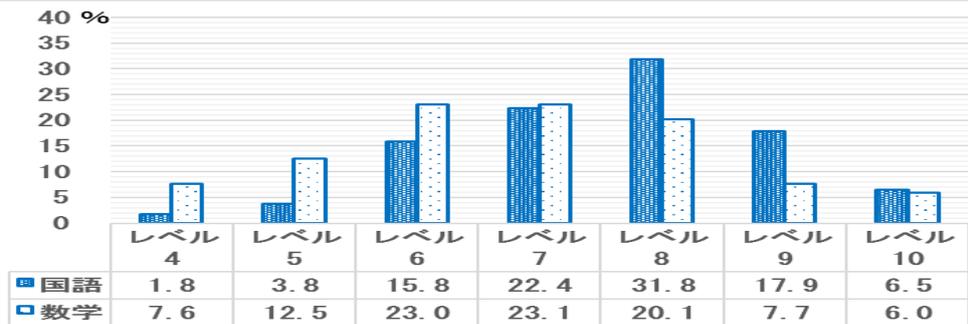
小学校
5年生
の分布



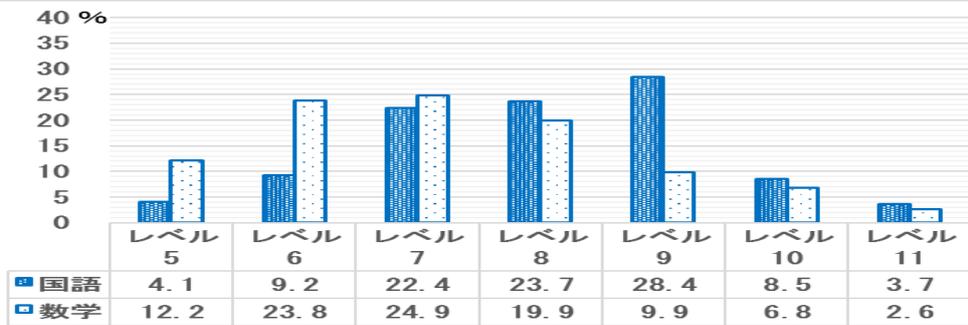
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布

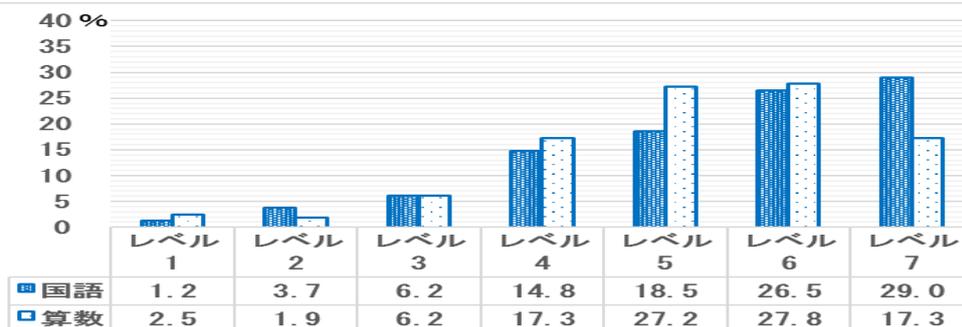


中学校
2年生
の分布

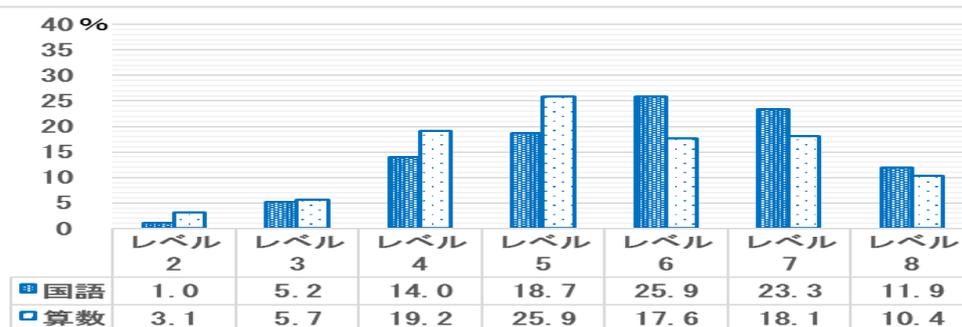


8 南会津教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

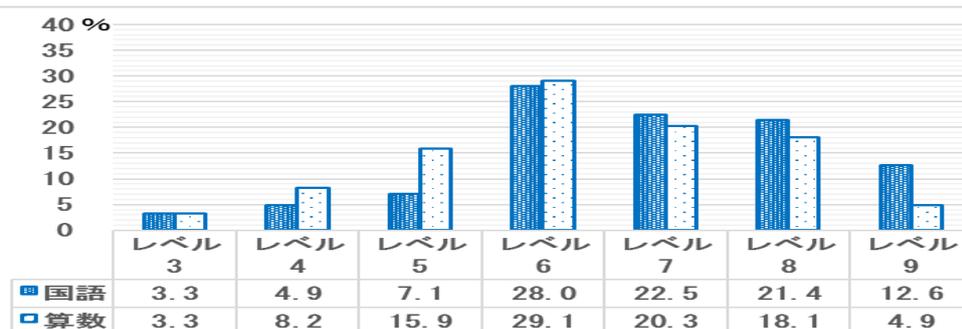
小学校
4年生
の分布



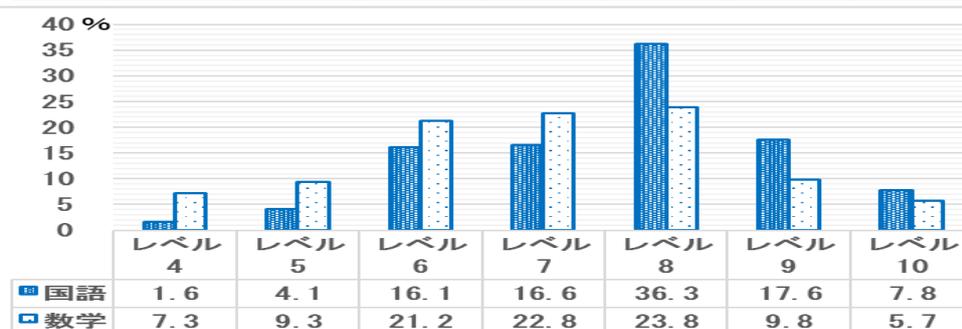
小学校
5年生
の分布



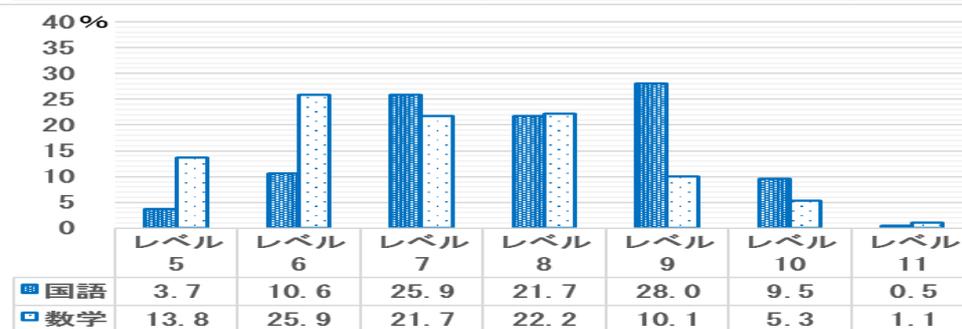
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布

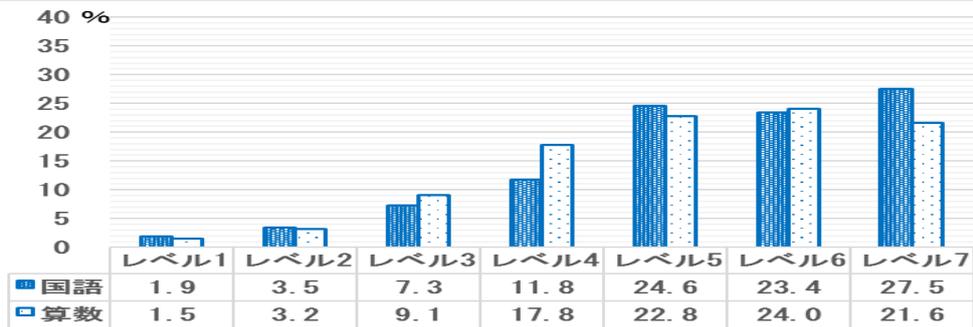


中学校
2年生
の分布

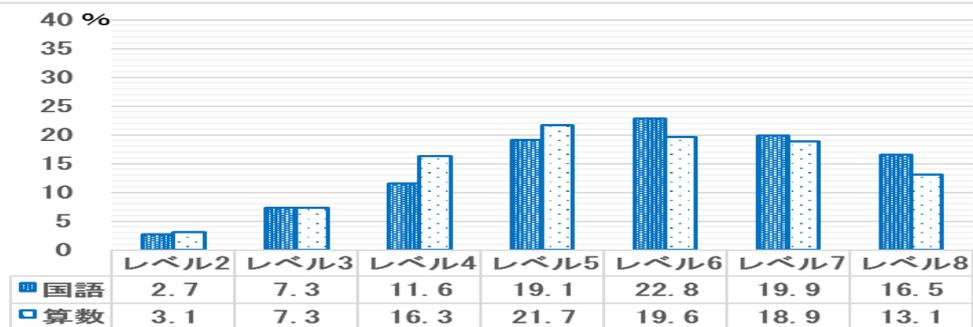


9 相双・いわき教育事務所域内の「学力のレベル」の分布 (%)

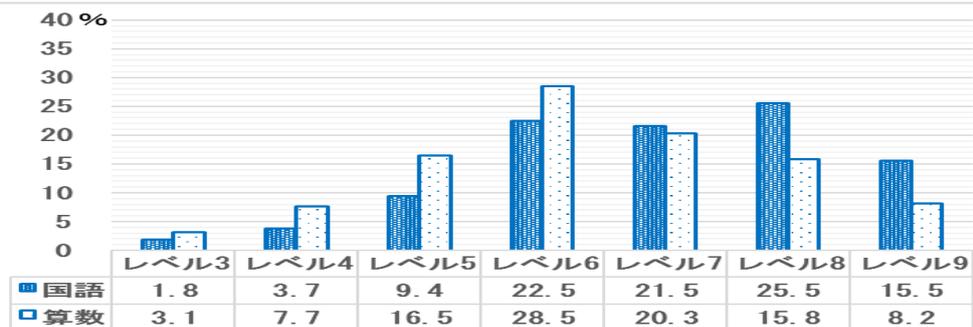
小学校
4年生
の分布



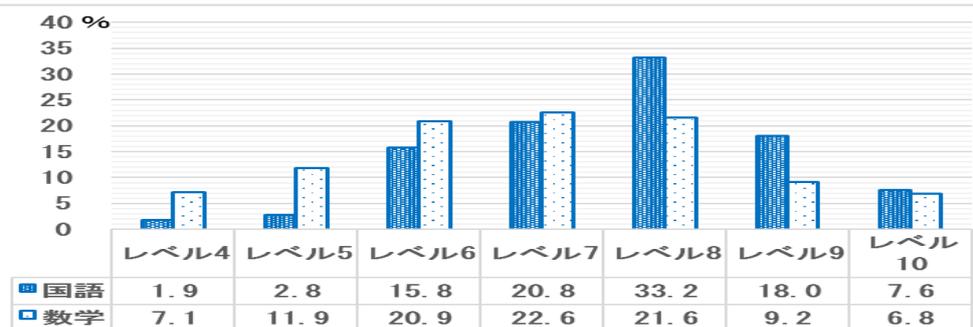
小学校
5年生
の分布



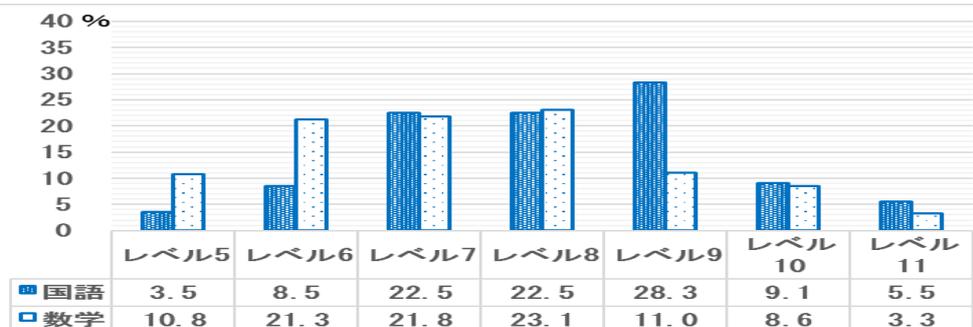
小学校
6年生
の分布



中学校
1年生
の分布



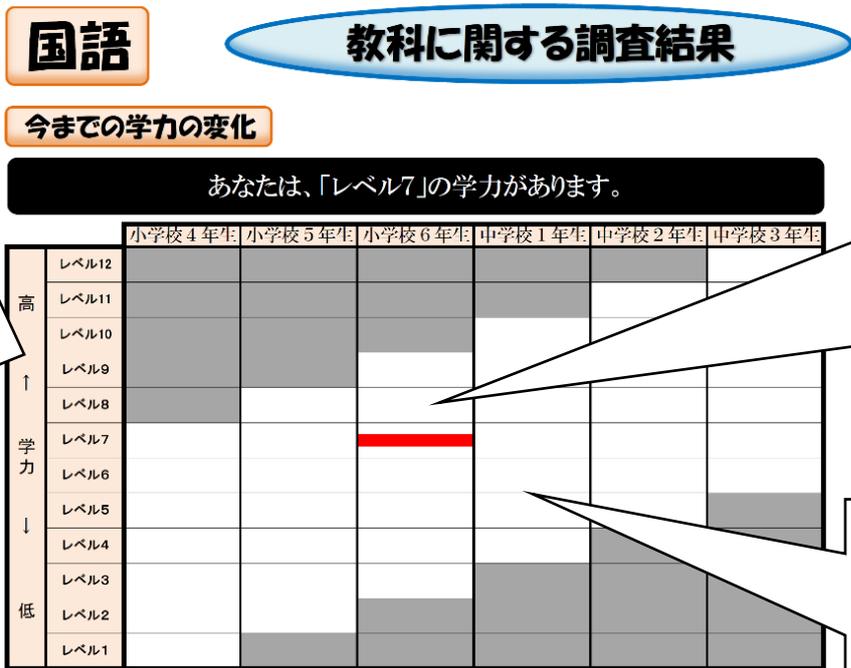
中学校
2年生
の分布



3 個人結果個票の見方について

児童生徒に配布される個人結果個票の例（小学校第6学年国語）

今年度の調査で測定した児童生徒の学力のレベルが示される。
1つのレベルは、さらに3層（A、B、C）に分かれている。
例は、レベル7-Bの学力を示している。



白い部分が学力の調査範囲を示している。
小学校第6学年の場合は、レベル3からレベル9までが調査範囲となる。

来年度は次の学年の欄に学力レベルが示される。これにより学力の変化を見ることができる。

今後の学習に生かせるように、一人一人に応じた学習に関するアドバイスが示される。

学習に関するアドバイス

あなたには表示されているレベルの学力があります。昨年度の調査を受けていないため、学力の伸びについては記載できませんが、来年度の調査で伸びが見られるよう、日々の授業を大切に、積極的に学習に取り組んでいきましょう。

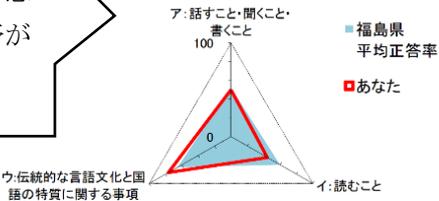
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項は、大変よくできました。さらに力をのばすために、文章や会話の中で使われている敬語や慣用句に関心をもち、生活の中で正しく使うように心がけましょう。文章を読むときは、比喩や反復などの表現の工夫に気付くように読み、文章を書く時にも使えるようにしましょう。

また、物語を読む時には、気持ちの変化に気付くように意識しましょう。そのため、登場人物の様子や考えについて順を追いつながりながら読むようにするとよいです。説明文を読む時は、筆者の考えが書かれている文や話題の中心となる言葉に注目しながら読むと、内容がよく分かります。

教科の領域等別正答率として、県の平均正答率と児童生徒の正答率が示される。
児童生徒の得意分野と苦手分野が分かる。

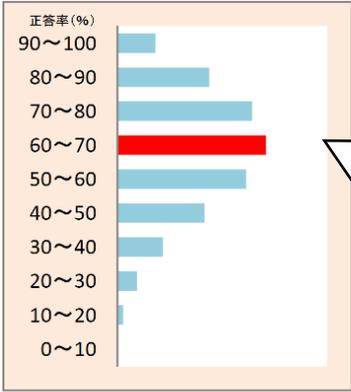
教科の領域等別正答率

	あなたの正答数	設問数	あなたの正答率(%)	福島県平均正答率(%)
ア	2	4	50.0	52.1
イ	4	9	44.4	59.7
ウ	13	17	76.5	65.0
全体	19	30	63.3	61.7



あなたの正答率は実線(◆)、県平均正答率は(◆)で表しています。

県全体の正答率分布



あなたの正答率は、県全体の正答率分布の ■ に含まれています。

県全体の正答率分布と、児童生徒の正答率が示される。
県全体における、おおよその位置が分かる。

4 調査に関するQ & A

【Q1】

「学力のレベル」とは何ですか。

【A1】

ふくしま学力調査では、様々な難易度の問題を出題し、それに対する正答や誤答の状況を見て、「学力のレベル」を判断しています。そのため、全ての問題に難易度を設定しています。

【Q2】

問題の難易度は、どのように設定しているのですか。

【A2】

例えば、計算問題では、次の例のように難易度を設定しています。

【例】計算問題（割り算）

問題の難易度	問題例
6	$0.7 \div \frac{2}{3}$
4	$5.6 \div 1.4$
3	$52 \div 4$

割り算に分数も入るため、難易度がさらに上がって、「6」となる。

割り算に小数が入るため、難易度が「4」に上がる。

整数同士の割り算である。本調査では難易度を「3」と設定している。

【Q3】

「学力のレベル」は、どのくらい設定されているのですか。

【A3】

学力のレベルはレベル1からレベル12まであります。各学年の測定は、次の表のように7レベルの間で行います。また、それぞれのレベルはさらに細かく3層（高い順にA⇒B⇒C）に分かれています。児童生徒には、学力のレベルをこの小さな層で分けた1-Cから12-Aまでの36段階で提示されます。

なお、福島県の中学3年生は調査を実施しておりません。

学年	学力のレベル	学年	学力のレベル
小学校4年生	レベル1～レベル7	中学校1年生	レベル4～レベル10
小学校5年生	レベル2～レベル8	中学校2年生	レベル5～レベル11
小学校6年生	レベル3～レベル9	中学校3年生	レベル6～レベル12